

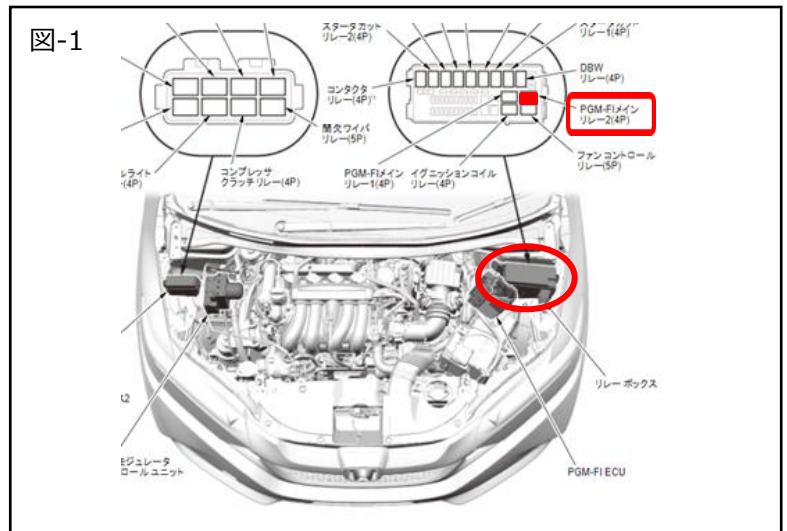
フューエルポンプモジュール脱着作業要領

機種名	型式
SHUTTLE	GK8 GK9 GP7 GP8

■ 使用する部品番号

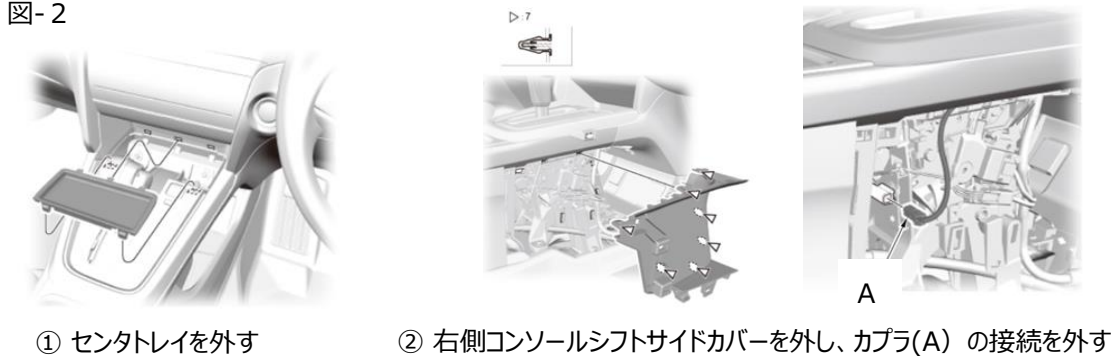
型式・タイプ	部品番号
GK8 全車共通	06170-T5B-305
GK9 全車共通	06170-T5F-305
GP7 全車共通	06170-T5A-305
GP8 全車共通	06170-T5E-305

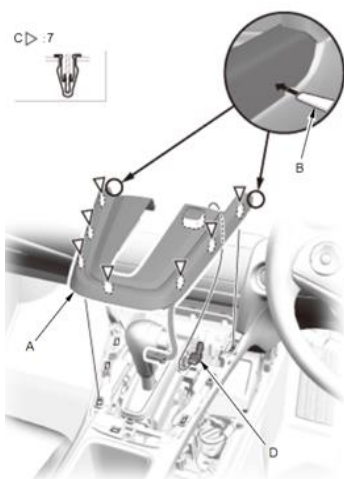
- 最初にフューエルメータの燃料残量を控えておく。
- POWERスイッチはOFFモードで、フューエルフィルターキャップを開ける。
- PGM-FIメインリレー-2を取り外す。
図-1参照



- エンジンを始動し、ガス欠でエンストするまでアイドリングで放置し、エンジン停止したらPOWERスイッチを押しOFFモードにする。
- 手順3.で取り外したリレーを元の位置に取り付け、バッテリーのマイナス端子を外す。
- 下記の周辺部品を取り外す。
【2WD車 GK8 GP7】
センターコンソールとFr側パーキングブレーキケーブルの一部を取り外す。 図-2参照

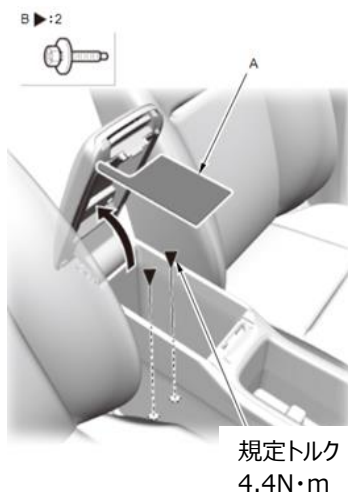
図-2





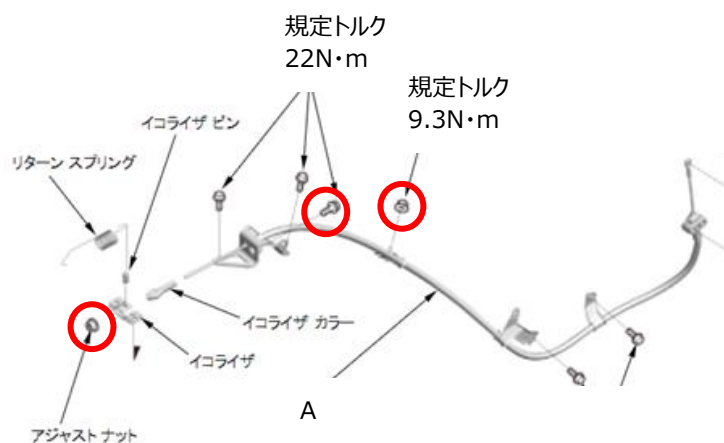
- ③ セレクトレバーパネル(A)前側の切り欠き部にクリップリムーバ(B)を差し込み、クリップ(C)を外し、パネルを徐々に持ち上げ、全てのクリップを外し、カブラ(D)の接続を外す

※ 破損に注意すること



規定トルク
4.4N・m

- ④ コンソールボックスマット(A)を外し、コンソール取付ボルトを外し、センタコンソール全体を外す



- ⑤ アジャストナットとFr側パーキングブレーキケーブル(A)を固定しているボルトとナット(赤丸)を外し、フューエルポンプモジュールが脱着できるようパーキングブレーキケーブルの一部を外す

【4WD車 GK9 GP8】

助手席シートを取り外す。 図-3参照

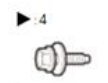
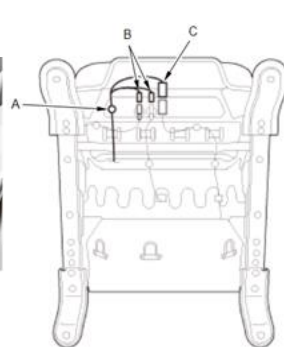
図-3



- ① Frフットキャップ、Rrフットカバーを外す
※ 破損に注意すること



- ② シートクッション裏側のハーネスクリップ(A)とカブラ(BC)を外す

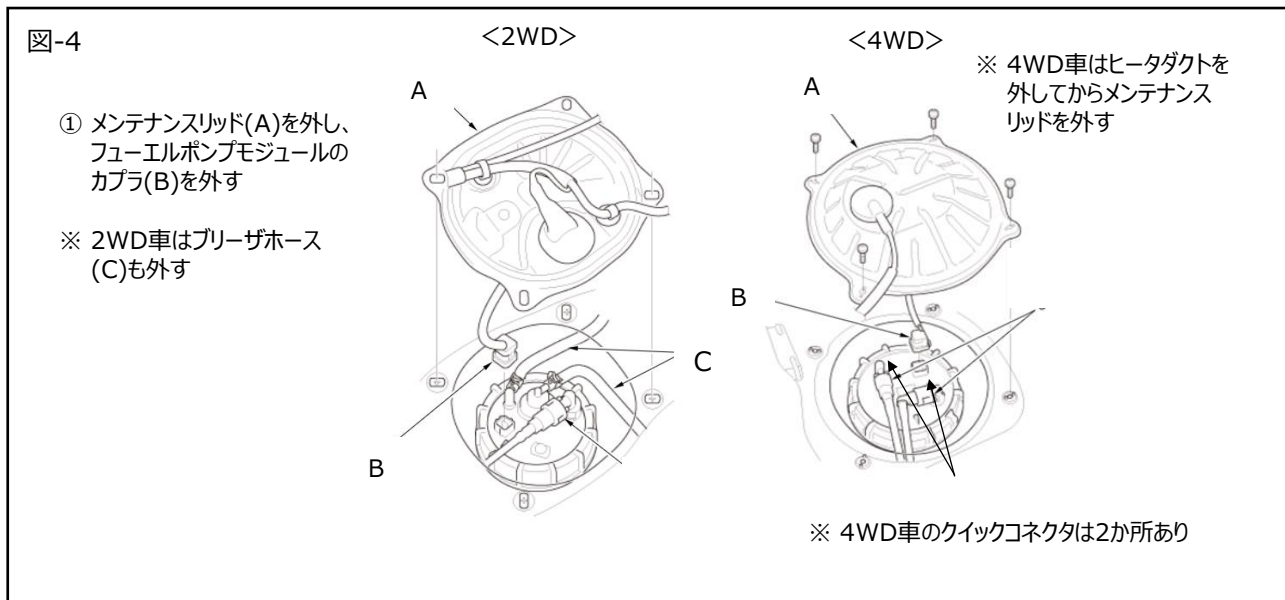


- ③ シート取付ボルト4本を外しシート全体を外す

規定トルク
34N・m

※組付け時の注意
シート取付ボルトは①②③④の順で規定トルクで締付ること

7. メンテナンスリッド(A)を外し、フューエルポンプモジュールからカブラ(B)を外す。 図-4参照

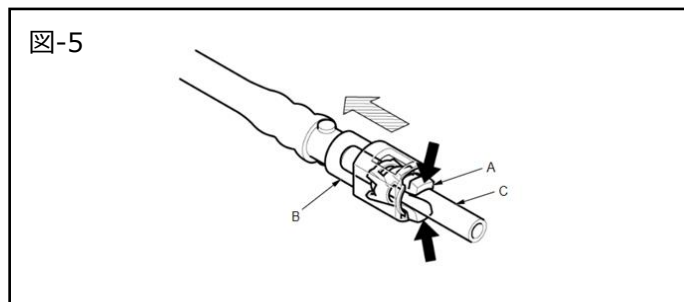


8. フューエルポンプモジュール上面および周辺部のホコリをウエスなどで除去する。

9. フューエルチューブのクイックコネクタ周辺にウエスを巻き、クイックコネクタリテーナ(A)を指でつまみながらチューブを外す。

図-5参照

※ クイックコネクタのリテーナは分解時交換

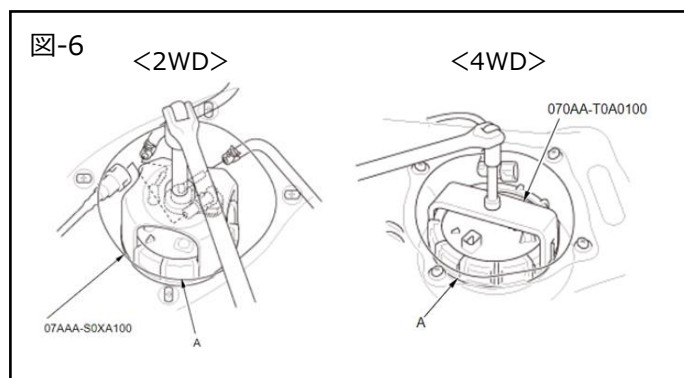


10. 指定のロックナットレンチを使用し、ロックナット(A)を外す。

図-6参照

※ ロックナットレンチ部番
2WD : 07AAA-S0XA100
4WD : 070AA-T0A0100

※ ロックナットは分解時交換



11. フューエルポンプモジュールをフューエルタンクから引き出し、取り外す。

図-7参照

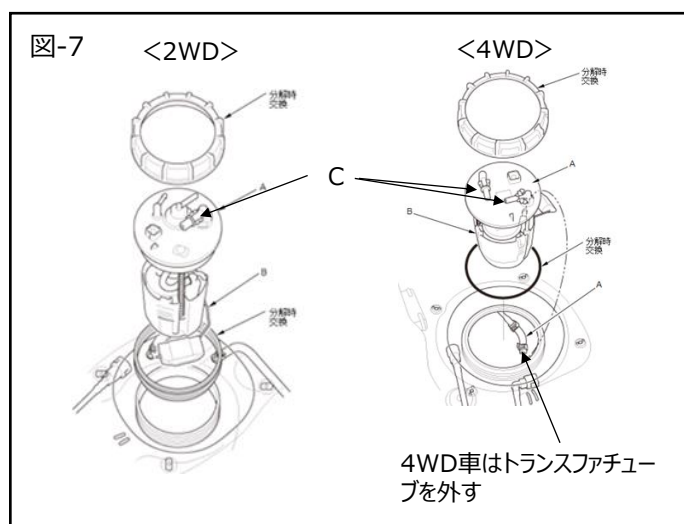
※ フューエルポンプモジュールを引き出した向きを覚えておくこと

※ センダユニットのフロートアームを変形させないこと

※ 車室内にガソリンを垂らさないよう、オイルパンなどに受けて、車外に移動すること

※ 古いパッキンを外し、ニッパなどで切る(再使用防止)

※ フューエルポンプモジュールから古いリテーナ(C)を外し、新品のリテーナを組付ける。



12. フューエルポンプモジュールを分解し、ポンプモータを交換する。

※ 参照するポンプ交換作業要領

2WD : A 4WD : C

※ 「再利用不可部品 廃棄確認シート」に交換した全ての部品を乗せ、写真を撮影すること。

図-8参照

※ フューエルポンプモジュールが組みあがった時点で整備主任者に中間検査を依頼し、誤組がないことを確認してもらうこと。

図-8



廃棄確認シート①②とも撮影すること

13. 2WD車はフューエルポンプモジュールに、4WD車はフューエルタンクのネジ上部に新品のパッキンを組付け、フューエルポンプモジュールをタンク内に挿入する。

※ パッキンの位置は図-11参照

※ センダユニットのフロートアームを変形させないように注意すること。

14. <4WDのみ>

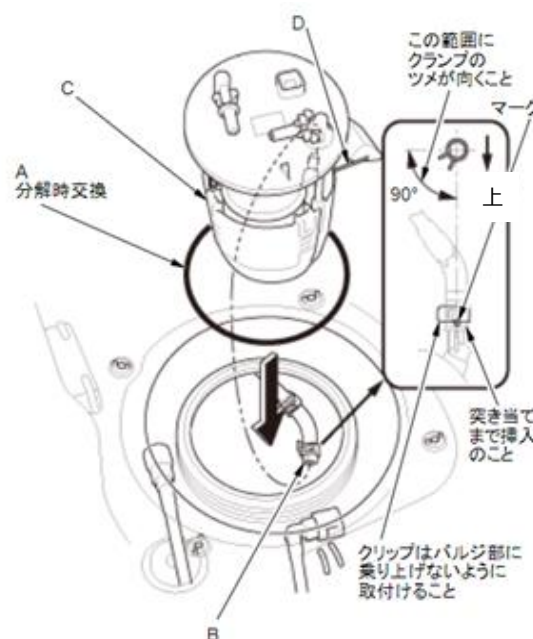
トランスファチューブ(B)を取り付ける。

図-9参照

※ トランスファチューブは中間検査で確認できないため、確実に取り付けること。

※ チューブクランプの位置と向きは図中の指示通りに組み付けること。

図-9

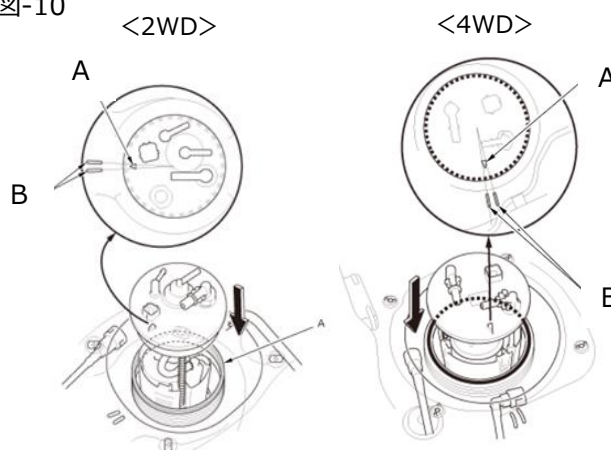


15. フューエルポンプモジュール上面の合わせマーク(A)をタンク側の合わせマーク(B)に合わせ、パッキンが密着するまで垂直に押しつける。

図-10参照

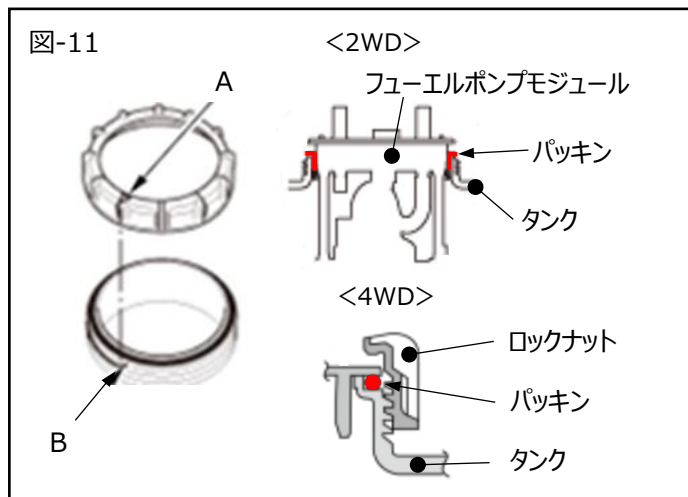
※ パッキンがずれていないことを十分に確認すること。

図-10



16. 新品のロックナットのマーク(A)とタンク側のネジの始まり(B)を合わせて、ロックナットを手でねじ込む。
図-11参照

- ※ フューエルポンプモジュールを押しつけながら、パッキンがずれないように作業すること。
- ※ タンクの膨潤によりロックナットが嵌りにくい場合がありますが、斜めにねじ込まないように十分に注意すること。



17. 指定のロックナットレンチを使用し、ロックナットを既定トルクで締めつける。

- ※ ロックナットレンチ部番
2WD : 07AAA-S0XA100
4WD : 070AA-T0A0100

- ※ ロックナット規定トルク
2WD : 93N・m
4WD : 100N・m

- ※ ロックナット締め付後、手順14の合わせマークが合っていることを確認すること。

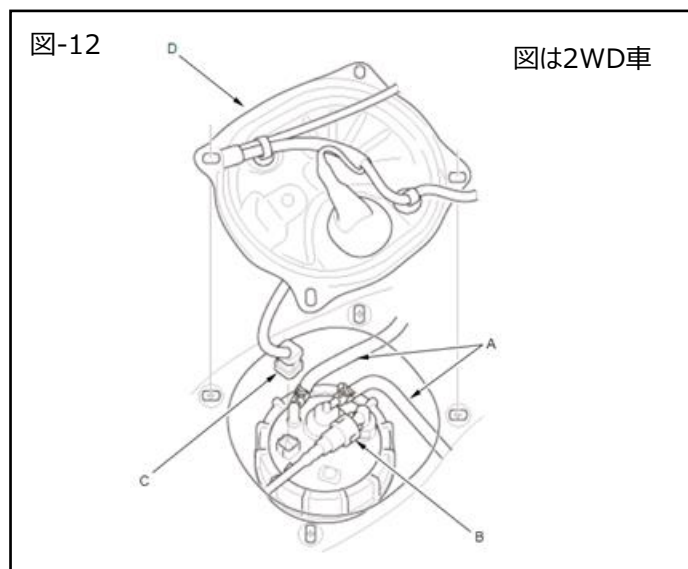
18. クイックコネクタ(A)とカブラ(B)を接続する。

図-12参照

- ※ 接続はカチッと音がするまで確実に押し込み
その後、軽い力で引っ張り、抜けないことを確認すること。
- ※ 2WD車はホース2本(A)を接続する。

19. バッテリーのマイナス端子を接続する。

20. ブレーキペダルを踏まない状態でPOWERスイッチを1回押し、約2秒間ONモードにしてから、OFFモードにする。



21. 手順20.の操作を3回以上繰り返し、クイックコネクタ部からガソリンが漏れていないことを確認する。

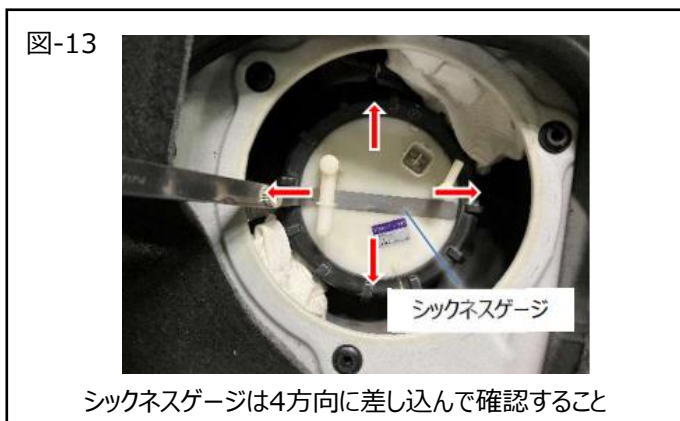
22. 整備主任者に中間検査を依頼する。

23. 整備主任者は下記項目を確認すること。

- ① クイックコネクタ部からガソリンが漏れていないことを確認する。
- ② フューエルポンプモジュールとロックナットの間隙にシクネスゲージを差し込み0.04mmが入らないことを確認する。

図-13参照

- ※ 0.04mm以上の隙間が1か所でもある場合はロックナットが斜めに入っているため、タンク交換が必要となります。



- ③ クイックコネクタ、カブラ、バッテリー端子の接続を確認する。
- ④ エンジンを始動し、フューエルメータが作業前の指示値を表示していることを確認する。

24. 手順23.の中間検査が完了後、メンテナンスリッドを取り付ける。

25. <2WD車>

パーキングブレーキケーブルを元通りに組付け、アジャストナットでパーキングブレーキの調整を行い、センタコンソールを組み付ける。

フューエルフィルターキャップを締め、リッドを閉じる。

パーキングブレーキ調整標準値：パーキングブレーキペダルを294N・mで踏み込み、6～7ノッチでRrブレーキがロックする

26. <4WD車>

助手席シートを元通りに組み付ける。

フューエルフィルターキャップを締め、リッドを閉じる。

- ※ 図-3の注意事項を厳守すること

27. 整備主任者に完成検査を依頼し、作業者の作業は完了です。

28. 整備主任者は下記項目を確認する。

- ① 分解した部品が確実に取付られていること。
- ② 分解した部品の機能が正常に作動すること。
- ③ 車両をリフトアップし、フューエルタンクにガソリン漏れの痕跡が無いこと。
- ④ DTCスキャンツールを接続し、DTCストアの有無を確認し、ストアされている場合は消去する。

26. インフォメーションラベルの写真を撮影する。

図-13参照

27. ホンダ販売店への請求書と作業完了報告書を作成し、印刷してください。

28. 作業依頼元のホンダ販売店へ完成連絡を行う。

- ※ 手順27.で作成した請求書と作業完了報告書をホンダ販売店へ必ず渡してください。

